

伊集院保健所感染症情報

2026年第35週（令和8年8月24日～令和8年8月30日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令！：水痘

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報 基準値	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		第32週	第33週	第34週	第35週	先週からの増減	第34週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	109.50	75.00	67.50	80.00	↗	41.37	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	1.00	0.50	↘	1.58	↗
COVID-19	—	—	—	2.00	0.50	0.50	0.50	→	0.67	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.45	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	10.00	6.00	3.00	5.00	↗	1.29	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	0.00	0.00	3.00	↗	2.97	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	3.00	↗	0.26	↗
手足口病	5	2	—	2.00	1.00	1.00	1.00	→	0.29	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.13	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	1.00	1.00	→	0.45	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.19	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	7.00	1.00	2.00	0.00	↘	1.10	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 今年もインフルエンザが流行シーズンに入りました

定点当たり 1.11（流行開始目安 1.00 を上回る）厚労省発表

令和8年第34週(令和8年8月17日から令和8年8月23日)分のインフルエンザの発生状況が、流行開始の目安である定点当たりの報告数が 1.00 を上回りました。

【基本的な感染対策】

インフルエンザをはじめとする感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用含む咳エチケット」などが有効です。

特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。

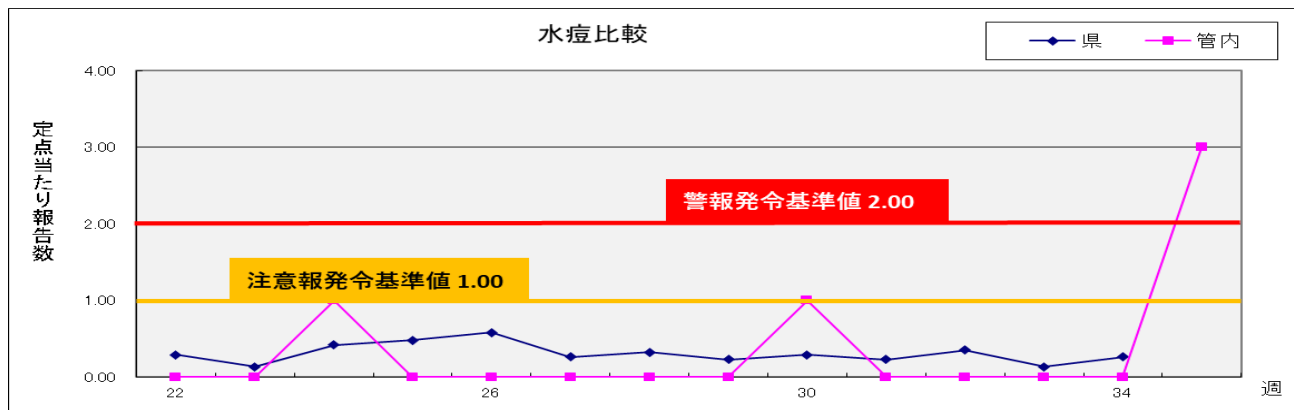
高齢者と会ったり、通院や大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策へのご協力をお願いします。

【予防接種】

インフルエンザワクチンには、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があるとされています。特に高齢者や基礎疾患のある方など、罹患すると重症化する可能性が高いと考えられていますので、予防接種をご検討下さい。また、インフルエンザと新型コロナワクチンは、同日に接種することが可能ですので、新型コロナワクチンの接種と合わせてご検討下さい。

● 注意すべき感染症

・ 水痘（流行発生警報発令！）



第35週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、3人でした。年齢別では、2歳・3歳・4歳（各1人）でした。

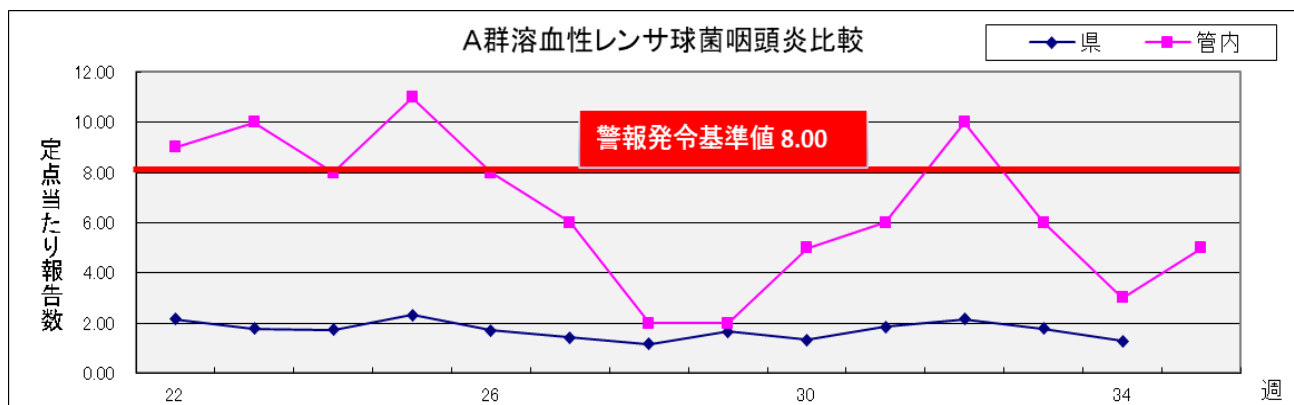
水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。

臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



第35週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、5人でした。年齢別では、5歳（2人）、4歳・7歳・9歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況8/24～8/30（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）
今週は、報告はありませんでした。